

NPO 法人ワンダーポケット2021年度事業報告

【特定非営利活動に係る事業】

1. 病気のこどもたちが良質な医療を受けるための環境整備に関する事業

(事業費 79,984 円)

● 病院での出張イベントの企画・開催

(1) 『クリスマスイベント』の開催

開催日時：2021年12月21日(火)、22日(水)、23日(木)、
24日(金)

開催場所：東北大学病院、仙台市立病院、国立病院機構仙台医療センター及び
仙台赤十字病院

対象者：入院中の0歳～小学生の子どもたち

対象者数：仙台市立病院	36名 (0～2歳…15名、男の子…12名、女の子…9名)
東北大学病院	35名 (0歳児のみ)
仙台医療センター	30名 (0～2歳…10名、男の子…10名、女の子…10名)
仙台赤十字病院	40名 (0～2歳…37名、男の子…1名、女の子…2名)

合計 141名

概要： 仙台市立病院と東北大学病院、国立病院機構仙台医療センターにおいては、各病院の医師やスタッフが子どもたちにプレゼントを配布して下さることとなり、当法人(以下「ワンダーポケット」という。)ではプレゼントを作製・ラッピングし、イベント当日に病院スタッフへお届けするところまでを担当した。

仙台赤十字病院においては、ワンダーポケットのスタッフでもある病院スタッフがサンタクロースやツリー、トナカイの扮装をし、NICUと小児科病棟へ入院中の子どもたちへプレゼントを手渡した。例年小児科病棟では、病棟主催のクリスマス会に合流し、プレゼント配布を担当していたが今年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策としてクリスマス会はなかったため子どもたちの病室を訪問し、ベッドサイドでプレゼントを手渡した。

配布したプレゼントはキャンディ・レイ(中身はビーズのアクセサリやフェルトで作った動物のストラップ、折り紙製の独楽、マグネット、昆虫のフィギュア、風船 など)、毛糸とフェルトで作った指人形、厚紙とフェルト製の写真立て、クリスマスカードなどで、その多くは例年同様ボランティアやスタッフの手で作られたものである。これらに加え、株式会社ジーシー様よりご寄付いただいた歯ブラシや、文房具類もあわせてラッピングし、子どもたちの年齢に応じたプレゼントを配布した。また、今年度は株式会社レウシット様よりプレゼントの制作に使う材料や折り紙やノートなどの文房具類をご寄付いただいた。

例年プレゼントのラッピングはボランティアとスタッフが集まり一緒に作業を行っていたが今年度は限られた人数で行うこととなった。それでも病院や制作のボランティアと連絡を取りながら成功させることができた。

2. 病気の子どもたちとその家族を支援するための事業 (事業費 17,510円)

●病児の兄弟姉妹の交流会「きょうだいの会」の開催

開催趣旨： 重い病気を患うきょうだいをもつ子どもたちは、家族の配慮にもかかわらず、孤独感や不安を抱きやすいことが知られている。このような境遇にある子どもたちが大人のスタッフ・学生ボランティアと一緒にゲームをしたり、豊かな自然に触れたりすることで、ストレスを発散し孤独感や不安感を癒すことが出来る心の居場所となるような場を提供する。

概要： 2021年度の事業計画では新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しつつ活動を再開し全4回の開催を予定していた。11月までの状況では集まったの活動を再開できるほどの感染者数の減少は見られなかった。それでも子どもたちの学年が変わる前には一度集まれることを期待していた。しかし、年明けの1月中旬以降の感染者数は増加の一途を辿り、3月に入っても高止まりの状況だった。特に10歳未満と10代の感染者は多く、学級閉鎖や部活動の禁止などの措置をとる学校も多くみられ、きょうだいの会を開催できる状況ではなかった。また、オンラインきょうだいの会も検討したが、オンラインの活動に消極的な家庭が多く実施が難しい状況にある。子どもが自分の携帯やPCを持っていない年齢の家庭では親の端末を借りて参加することになるが、親の前で楽しく自由におしゃべりすることができない子どもがいることも考えられる。

●きょうだいの会OB・OG交流会の開催

2021年度は実施できなかった。

●ボランティア感謝会の開催（中止）

開催趣旨： ワンダーポケットの役員やスタッフが、各活動に携わったボランティアや協力団体、病院関係者などを招待し感謝を伝えるとともに、活動報告や情報交換の場とする。

中止理由： 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により多くの活動に制限がありボランティアとの交流機会が激減したことに加え、会食会の開催は難しい状況であったため中止とした。

3. ボランティアを育成するための研修プログラムの提供事業 (事業費 0円)

●ボランティア・スキルアップ講習会の開催（中止）

開催趣旨： 病院の小児病棟などで活動をしているボランティアの方々やこれから病院ボランティア活動を志す方々、保育士や学校教育に携わる方々など幅広く子どもに寄り添う人々を対象に、子どもを取り巻く社会環境の問題点を抽出し、共通理解を深める。ボランティアの質の向上、モチベーションの維持を目指し、活動意義や活動内容に伴う知識を習得する。また、ワンダーポケットの活動を一般の方たちに理解していただく場所として企画・開催し、ワンダーポケットの活動のための組織強化を図ると共に、ボランティア同士の情報交換の場とする。

中止理由： 開催について共催である宮城県立こども病院のボランティアコーディネーターさんと話し合ったが、例年会場としてお借りしている愛子ホールはこども病院の中にあり、この時期こども病院では感染症対策によりボランティアも原則入館禁止であることに加え、こども病院のボランティア以外の参加者は病院関係者が多く実際に集まる講習会への参加は難しい状況

であった。オンラインでの講習会も検討したが、例年の参加者層をみるとオンライン対応が難しい方が多いとの助言を受け今年度の開催は見送った。

●ワンダーポケット「きょうだいの会」勉強会（中止）

開催趣旨：きょうだいの会に参加する学生ボランティアを対象に「きょうだい」を取り巻く家庭環境の問題点を抽出し共通理解を深める。ボランティアの質の向上、モチベーションの維持を目指し、活動意義や活動内容に伴う知識を習得する。また、ワンダーポケット及びきょうだいの会の活動を学生たちに理解していただく場所として企画・開催し、ワンダーポケットの活動のための組織強化を図ると共に、ボランティア同士の情報交換の場とする。

中止理由：きょうだいの会開催に先立って行っている勉強会だが、開催の見通しが立たなかったため中止とした。

●ワンダーポケットの活動を通じたボランティアの育成・支援

活動事業：クリスマスイベント

従事者数：延約15名

概要：クリスマスプレゼントの制作においてボランティア活動の場を提供した。イベント後には成果や子どもたちの様子など病院からいただいた情報を共有する機会を持ち、活動への継続的な参加をお願いした。

4. この法人の活動に関する一般社会の理解をより深めるための広報、啓発事業

(事業費 5,652円)

●ホームページ、ブログ「ラッコのしっぽ」、フェイスブックの継続

例年はホームページやブログをイベント開催前や終了時を中心に更新するとともに、ワンダーポケットのフェイスブックも併用し、外部への情報公開や会員・支援団体への活動状況報告、ならびに各イベントやボランティア作業への参加呼びかけのツールとして活用しているが、今年度はほとんどの活動が開催できなかったため更新が滞った。

●ワンダーポケット通信の発行

発行回数：2回

発行部数：各150部

概要：ワンダーポケットの活動状況を、会員やこれまで様々な形で活動を支援してくださっている方々に知らせていくため、ワンダーポケット通信 Vol.39およびVol.40を発行した。Vol.39では2020年度後半の活動報告を行い、Vol.40は2021年度前半の活動を報告する内容となっている。

●法人紹介リーフレットを改訂

今年度は実施しなかった。

●『ボランティア・スキルアップ講習会』の会場において書籍の展示・販売を行う

病気の子どものに関する書籍の展示・販売は、2021年度は実施しなかった。

5. その目的を達成するために必要な事業

(事業費 0円)

●『ワンダーポケット』の組織強化活動

(1) 新規会員募集活動の実施

ボランティア・スキルアップ講習会などの場がなかったため役員や運営委員から周囲へ会員募集の声かけを行ったが今年度の新規会員はなかった。

(2) 現在の会員数の状況

2022年3月末時点の全会員数は64名で、その内訳は一般会員49名、賛助会員15名(うち団体3)となっている。また会費の未納者は8名(うち賛助会員1)で未納額は34,000円である。

なお、2021年度は1名(団体1)が退会した。

●会議の開催

(1) 理事会の開催

開催日時；2021年5月21日(金)

開催場所；事務局

議 題；総会に付議すべき事項について

(2) 総会の開催

開催日時；2021年6月5日(土)

開催場所；みやぎNPOプラザ 第一会議室

議 題；2020年度事業報告及び決算報告
2021年度事業計画案及び予算案

●事務局の運営等

(1) 事務局員(2名)

(2) 運営委員会の開催 計2回(オンライン会議)

(3) 実行委員会の開催 計2回(オンライン会議)

【その他の事業】

その他の事業(物品の販売事業及びチャリティー事業)は実施しなかった。